

**製品名: PI 3-キナーゼ p110δ ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16100**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	120kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PIK3CD
別名	PIK3CD; Phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate 3-kinase catalytic subunit delta isoform; PI3-kinase subunit delta; PI3K-delta; PI3Kdelta; PtdIns-3-kinase subunit delta; Phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate 3-kinase 110 kDa catalytic subunit delta; PtdIns-3-kinase subunit p110-delta; p110delta
遺伝子 ID	5293.0
SwissProt ID	O00329
免疫原	抗血清はヒト PIK3CD の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

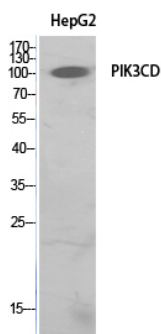
## 背景

ホスホイノシチド3キナーゼ (PI3K) はイノシトール脂質をリン酸化して免疫応答に関与する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、主に白血球にみられるクラスI PI3Kである。他のクラスI PI3K (p110-alpha、p110-beta、p110-gamma) と同様に、このタンパク質は p85 アダプタータンパク質および GTP 結合型 RAS に結合する。しかし、他のクラスI PI3Kとは異なり、このタンパク質は p85 タンパク質ではなく、自身をリン酸化する。[RefSeq 提供、2010年7月],触媒活性: ATP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 4,5-ビスリン酸 = ADP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 3,4,5-トリスリン酸。経路: リン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールリン酸生成に関与する。PTM:Ser-1039の自己リン酸化により、脂質キナーゼ活性はほぼ完全に不活性化される。類似性:PI3/PI4 キナーゼファミリーに属する。類似性:1つのPI3K/PI4Kドメインを含む。サブユニット:p110 (触媒) サブユニットと p85 (調節) サブユニットのヘテロ二量体。ERASと相互作用する。組織特異性:主に白血球で発現する。,

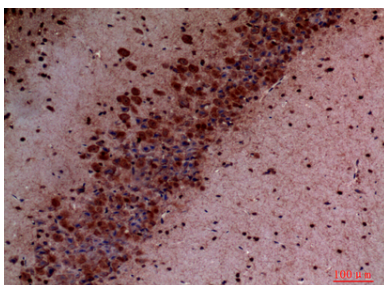
## 研究分野

イノシトールリン酸代謝、ErbB\_HER、ケモカイン、ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系、mTOR、アポトーシス阻害、ミトコンドリアアポトーシス、アポトーシスの概要、VEGF、接着斑、Toll様、Jak\_STAT、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、T細胞受容体、B細胞抗原、FcイプシロンRI、FcガンマRを介した貪食、白血球の内皮透過性遊走、神経栄養因子、アクチンと細胞骨格の調節、インスリン受容体、プロゲステロンを介した卵母細胞成熟、II型糖尿病、アルドステロンを介したナトリウム再吸収、がんの経路、大腸がん、腎細胞がん、膵臓がん、子宮内膜がん、神経膠腫、前立腺がん;黒色腫;慢性骨髄性白血病;急性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

## 画像データ



PI 3-キナーゼ p110δ ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された